



オルソケラトロジー

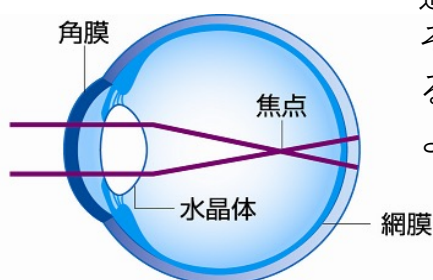
～ナイトコンタクトレンズ～



I. オルソケラトロジーとは

寝ている間に装用することで近視を矯正できる特殊な形状のハードコンタクトレンズ。日中はコンタクトレンズを外し、**裸眼で過ごすことができます。**

近視の眼



<近視を矯正する仕組み>

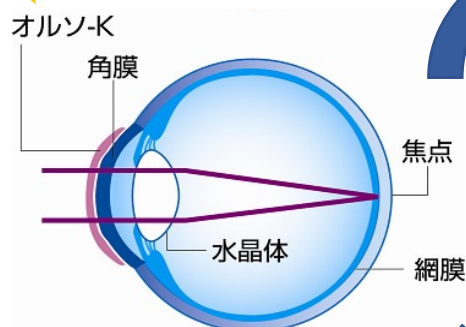
通常、眼に入ってくる光は網膜で焦点が合います。それによりハッキリとした像として見ている物を捉えることができます。しかし近視の眼は焦点が網膜より手前で合ってしまうため、物がボヤけて見えます。

<オルソケラトロジーの仕組み>

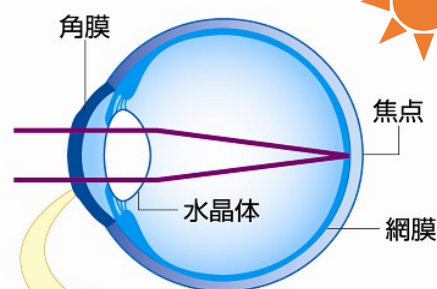
夜、就寝中にオルソケラトロジーレンズを装用することで、角膜の表面の形を変化させます。(やや平坦な形になります)これにより光の屈折が変わり、**網膜上で焦点が合う**ようになります。

レンズを外しても一定時間角膜の形状は保たれるため、日中裸眼で過ごしていても焦点は網膜上で合ったまま**十分な裸眼視力が出ます。**

夜：レンズ装用時



日中：レンズを外した状態



角膜中心部の
前面が平坦化

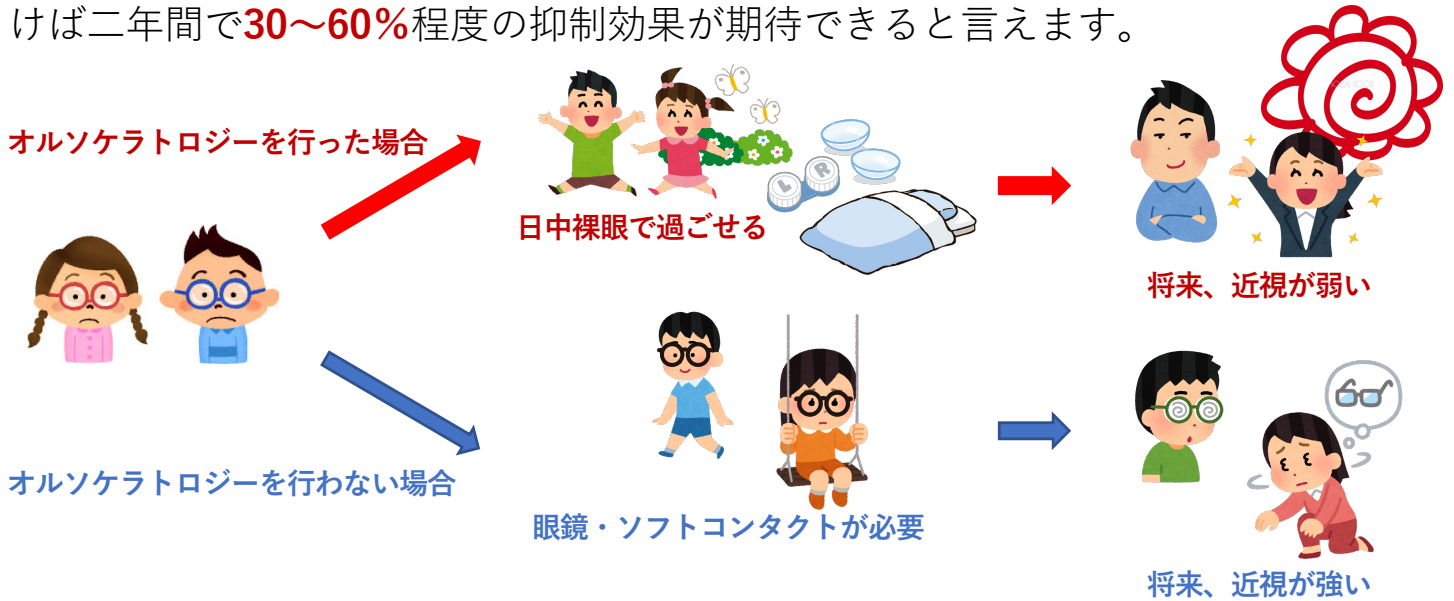
II. オルソケラトロジーの適応

- ・ 近視度数：-4.00Dまで
- ・ 乱視度数：-1.00Dまで
- ・ その他の眼科疾患がない

* 左記範囲内・外どちらの場合でも、医師の判断によって変わる場合があります。
気になった方はお近くのスタッフまで！

Ⅲ.オルソケラトロジーの効果

オルソケラトロジーを装用することにより、日中裸眼で過ごすことができるほか、**近視の進行を抑制する**効果があると言われています。近視の度数は眼球の大きさ(眼軸長)で決まることが殆どですが、オルソケラトロジーを行うことで眼軸長の伸長を抑えられるという報告がいくつかの学会で挙げられています。これに基づけば二年間で**30～60%**程度の抑制効果が期待できると言えます。



Ⅲ.当院でのオルソケラトロジーの流れ

まずはオルソケラトロジーが可能な眼かどうか判断するため、適応検査を行います。当院では適応検査は予約なしで行うことができます。

適応検査

視力検査、屈折検査、眼圧、角膜形状解析検査、涙液検査、
角膜内皮細胞数測定、瞳孔径測定、診察 (予約なしで可)

コンタクトトライアル・処方

レンズのサイズ合わせ、フィッティング調整、レンズのお試し装用、
視力検査、角膜形状解析検査、診察 (予約が必要)

定期検査

コンタクトレンズチェック(傷・汚れの有無)、視力検査、眼圧、
角膜形状解析検査、診察 (予約が必要)

* 定期検査はオルソケラトロジー開始1週間、1か月、3か月、その後3か月ごとに来院していただきます。

興味のある方はお近くの
スタッフまで！

